

村山市西郷児童センター

施設概要

事業主体：村山市

施設名称：西郷児童センター

所在地：村山市大字名取 3312-66

用途：児童福祉施設



《外観写真》

●施設の特徴、内容

旧西郷児童センターは、急傾斜地に建設されており、『坂道のある児童センター』として、地域住民に親しまれてきた施設であったが、施設の老朽化に伴い建替が必要となり整備が行われた。年少・年中・年長の3クラスに加え多目的ホール、遊戯室、共育の部屋などを備え、園児のみならず、地域に開放した施設として地域住民に親しまれている。

地元産木材を使用することにより、地域林業の活性化に寄与すると共に、二酸化炭素の固定化による環境負荷の低減が図られた。内装仕上げ材料にもフローリングや腰壁の杉板、天井の梁表しなど多くに木材を使用し、構造材料も出来る限り表しとすることで、木材の温かみや風合いが利用者に伝わる豊かな空間を造ることを目指した。

東立面図



■建物情報

階数：地上1階

構造：木造

小屋組方式：木質大断面架構

敷地面積：6,542 m²

延床面積：662 m²

最高軒高：4.83m

最高高さ：8.33m

耐火・準耐火：その他の建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根)：定尺フッ素樹脂塗装鋼板横葺き t0.35 mm

(外壁)：サイディング張り t14 mm

(その他)：腰壁 堅羽目板張り t18 mm

内部仕上

(床)：構造用合板 t15 mm 複合フローリング張り

(壁)：ビニールクロス

(腰壁)：杉縦羽目板張り t12 mm

(天井)：石膏ボード t9.5 mm、ロックウール吸音板張り t12 mm



《遊戯室》スパン約11mの大空間には集成材を利用し、木質大断面構造とした

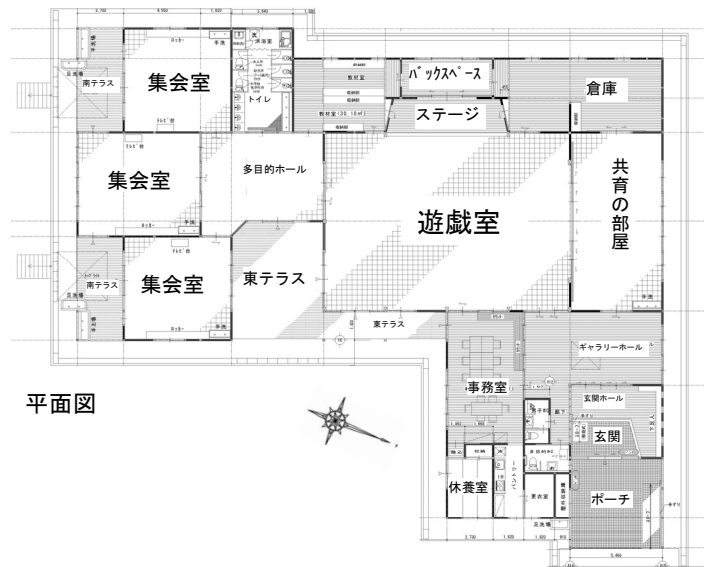
《使用木材》



杉	70 m ³	松	50 m ³
ヒバ	14 m ³	其他合板	35 m ³
計	169 m ³		

●設計における工夫点

できる限り地元産の木材の利用に努めながら、大スパンの遊戯室を中心に、のびのびとした空間で子供たちが学び、遊ぶことができるよう配慮している。また、地域住民と交流の場として『共育の部屋』を備え、交流を通じて地域と一体となった子供の育成が図られるよう計画した。



平面図



《外観写真》屋根からの落雪を考慮し落雪部へ緩衝帯を設けた

●配置計画について

施設の規模からホール型で計画。コアとなるホールを共有保育ゾーンとし、ホールを中心として諸室を配置した。このことにより、廊下の無い平面が可能となり、規模の抑制や暖房効率の面で有効である。



《共有の部屋》



《玄関ホール》



《多目的ホール》

内装に多くの木材を利用することで、木材の温かみや風合いが利用者に伝わる豊かな空間を目指した

■事業概要

設計者：有限会社 辰建築設計室
 施工者：(建築) 株式会社 矢萩土建
 (電気) 株式会社 ジェック
 (機械) 中央管工事 共同企業体
 代表者 高谷建設 株式会社
 工期：平成20年9月～平成21年3月

設計費：178,054 千円
 建設費：(建築) 129,860 千円
 (電気) 13,806 千円
 (機械) 18,690 千円
 (合計) 162,355 千円
 1 m²あたりの建設費：245 千円